

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.17

発行
社団法人 青森県畜産協会

日本短角牛消費拡大普及研究会



2月23日、日本短角牛の消費拡大を図るため、青森県日本短角種振興協議会と共催し青森市において研究会を開催した。青森市内に飲食店を構えるシェフや県内の短角牛飼養生産者、流通業者や畜産団体など関係者約40名が集まり、短角牛を活用した創作料理の試食や日本短角種についての講演、意見交換などを行った。



県畜産課による講演では、日本短角種の品種特性や飼養状況、県内における特徴的な取り組みなどについて紹介があり、初めて聞くシェフ

たちは興味深げに聞き入っていた。続く創作料理の試食では、短角牛のモモ肉を使った生ハムやステーキ、バラ焼きなど各部位の特徴を活かした料理4品を試食してもらいアンケートを実施した。「個人的にはもう少しサシが欲しい」などの感想もあったが、日本料理店の料理長が考案して提供した「サーロインの昆布包み焼き」はシェフらにも好評で、「非常に昆布と合い短角牛の特徴がよく出ている」や「短角牛の旨みを上手に引き立てているいいアイデア料理」などの声が上がった。

意見交換の場では、生産者が短角牛に対する思いや黒毛和牛との価格差が縮まらない苦しい現状などを語り、またシェフからは行政側に対して短角振興を図る明確なスタンスの確立や方向性の統一などを求める厳しい意見も出た。しかし、生産側と飲食店側との交流の場となった今回のようなイベントの継続を望む声もあり、当協会としても一過性のものとして終わらせることなく、今後も短角牛の消費拡大に向けた取り組みを続けていきたいと思っている。



(シェフ考案料理)



(交流する生産者とシェフたち)

生産者補助金 交付状況

○肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）の交付状況

		肉専用種	交雑種	乳用種	交付日
平成23年度12月期		51,300円	153,700円	106,800円	2月22日
平成23年度 1月期	機構公表単価	69,500円	151,300円	120,200円	3月27日
	青森県交付単価	69,500円	151,300円	110,500円	

○おしらせ○ 新マルキン事業 毎月補填を延長実施します

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）に係る平成24年1月～3月販売分について毎月補填を継続して実施することとなりました。ただし、長期間にわたる毎月補填の実施により、主に「乳用種」において補填金交付額に見合う財源を確保できなくなっております。そのため、1月期の補填金について（独）農畜産業振興機構に単価減額申請を行い、青森県独自の単価での交付を実施します。

死亡牛の輸送経費等についてのお知らせ

○生産者の皆さまへ○

平成24年度生産者負担額についてお知らせします。

1. 補助対象（24月齢以上）
 - ①一時保管施設を経由する場合



（単位：円）

輸送区間	取扱者	（宥青和）	堀内皮革
県下全域	農場→保冷施設	5,800	7,350
	保冷施設	3,500	3,500
	保冷施設→化製場	2,100	2,100
	化製場	15,750	15,750
	合計	27,150	28,700
下北地域	農場→保冷施設	7,900	9,450
	保冷施設	3,500	3,500
	保冷施設→化製場	2,100	2,100
	化製場	15,750	15,750
	合計	29,250	30,800
津軽地域	農場→保冷施設	9,475	9,450
	保冷施設	3,500	3,500
	保冷施設→化製場	2,100	2,100
	化製場	15,750	15,750
	合計	30,825	30,800

輸送区間	取扱者	（宥青和）	堀内皮革
新郷村	農場→保冷施設	5,800	10,500
	保冷施設	3,500	3,500
	保冷施設→化製場	2,100	2,100
	化製場	15,750	15,750
	合計	27,150	31,850
その他遠隔地域	農場→保冷施設	6,800	10,500
	保冷施設	3,500	3,500
	保冷施設→化製場	2,100	2,100
	化製場	15,750	15,750
	合計	28,150	31,850
三戸町	農場→保冷施設	6,800	10,500
	保冷施設	3,500	3,500
	保冷施設→化製場	2,100	2,100
	化製場	15,750	15,750
	合計	28,150	31,850
階上町	農場→保冷施設	6,800	10,500
	保冷施設	3,500	3,500
	保冷施設→化製場	2,100	2,100
	化製場	15,750	15,750
	合計	28,150	31,850
田子町	農場→保冷施設	6,800	10,500
	保冷施設	3,500	3,500
	保冷施設→化製場	2,100	2,100
	化製場	15,750	15,750
	合計	28,150	31,850

輸送区間	取扱者	（宥青和）	堀内皮革
佐井村	農場→保冷施設	9,475	10,500
	保冷施設	3,500	3,500
	保冷施設→化製場	2,100	2,100
	化製場	15,750	15,750
	合計	30,825	31,850
その他遠隔地域	農場→保冷施設	11,475	10,500
	保冷施設	3,500	3,500
	保冷施設→化製場	2,100	2,100
	化製場	15,750	15,750
	合計	32,825	31,850
深浦町	農場→保冷施設	11,475	10,500
	保冷施設	3,500	3,500
	保冷施設→化製場	2,100	2,100
	化製場	15,750	15,750
	合計	32,825	31,850

注：これまで輸送区間を「県下全域」・「下北地域」・「津軽地域」の3区分としてきたところですが、平成24年度から新たに「その他遠隔地域」を追加することとなりました。

②一時保管施設を経由しない場合

（単位：円）

輸送区間	取扱者	（宥青和）	堀内皮革
県下全域	農場→化製場	7,900	8,400
	化製場	15,750	15,750
	合計	23,650	24,150
下北地域	農場→化製場	10,000	10,500
	化製場	15,750	15,750
	合計	25,750	26,250
津軽地域	農場→化製場	11,575	10,500
	化製場	15,750	15,750
	合計	27,325	26,250

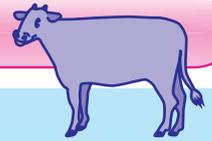
輸送区間	取扱者	（宥青和）	堀内皮革
新郷村	農場→化製場	7,900	12,600
	化製場	15,750	15,750
	合計	23,650	28,350
その他遠隔地域	農場→化製場	8,900	12,600
	化製場	15,750	15,750
	合計	24,650	28,350
三戸町	農場→化製場	8,900	12,600
	化製場	15,750	15,750
	合計	24,650	28,350
階上町	農場→化製場	8,900	12,600
	化製場	15,750	15,750
	合計	24,650	28,350
田子町	農場→化製場	8,900	12,600
	化製場	15,750	15,750
	合計	24,650	28,350

輸送区間	取扱者	（宥青和）	堀内皮革
佐井村	農場→化製場	11,575	12,600
	化製場	15,750	15,750
	合計	27,325	28,350
その他遠隔地域	農場→化製場	13,575	12,600
	化製場	15,750	15,750
	合計	29,325	28,350
深浦町	農場→化製場	13,575	12,600
	化製場	15,750	15,750
	合計	29,325	28,350

注：① B S E 対策特別措置法施行規則第4条第2号に該当し、家畜防疫委員が B S E 検査の除外を認めた場合。
 ② 火災、風水害その他の非常災害又は不慮の事故により牛の死体が消滅し、又は毀損したことにより、当該牛の検査に供する検体を確保できないため。

お問合せ 家畜衛生課 TEL：017-722-4331

青森県家畜市場成績（七戸）



子牛 市場成績表

【開催日 24年2月10日】

1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種	雄											
	去	328	705,600	11,550	456,580	300	307	1,488	289	472,286	1,518	-30
	雌	197	710,850	40,950	372,681	310	282	1,323	228	355,540	1,244	79
	【小計】	525	710,850	11,550	425,098	303	297	1,429	517	420,800	1,403	26
日本短角種	雄											
	去	2	105,000	50,400	77,700	291	306	254				
	雌	3	126,000	107,100	118,300	290	281	421				
	【小計】	5	126,000	50,400	102,060	291	291	351				
乳用交雑種	雄											
	去											
	雌	2	95,550	48,300	71,925	232	215	335				
	【小計】	2	95,550	48,300	71,925	232	215	335				

・黒毛和種の取引頭数は525頭で、前回より去勢39頭増、雌31頭減、全体で8頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は425千円で、前回より去勢16千円安、雌17千円高、全体で4千円高となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	163	480,243	310	1,551	302	93	371,892	283	1,312	312	256	440,881	1,469	306	48.8
北平安	22	461,857	309	1,492	296	7	345,000	275	1,253	301	29	433,650	1,440	297	5.5
第2花国	10	443,730	294	1,510	294	6	337,400	270	1,250	318	16	403,856	1,418	303	3.1
第2平茂勝	14	460,050	314	1,465	307	6	352,625	264	1,336	309	20	427,823	1,431	308	3.8
安茂勝	17	481,641	319	1,508	300	22	389,980	296	1,317	298	39	429,935	1,403	299	7.4
茂勝栄	11	410,836	298	1,379	306	8	375,244	313	1,200	309	19	395,850	1,301	307	3.6
総合計	328	456,580	307	1,488	300	197	372,681	282	1,323	310	525	425,098	1,429	303	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で48.8%、次いで「安茂勝」7.4%となった。
 ・第一花国の平均価格は441千円で、前回に比べ10千円高となった。単価は1,469円で前回より41円高となった。

【開催日 24年3月9日】 <速報値>

1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種	雄											
	去	389	684,600	238,350	486,104	300	309	1,573	327	456,358	1,488	85
	雌	293	845,250	210,000	392,532	308	287	1,367	197	372,681	1,323	44
	【小計】	682	845,250	210,000	445,904	304	300	1,489	524	424,899	1,429	60
	主	16	751,800	320,250	460,294	300	295	1,562	15	405,440	1,391	171

・黒毛和種の取引頭数は521頭で、前回より去勢62頭増、雌96頭増、全体で158頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は446千円で、前回より去勢30千円高、雌20千円高、全体で21千円高となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	173	505,026	312	1,619	304	138	397,942	288	1,383	309	311	457,510	1,519	306	45.7
北平安	13	458,688	315	1,456	307	16	363,563	274	1,328	319	29	406,205	1,390	314	4.3
第2花国	7	451,200	305	1,479	311	12	362,338	266	1,364	302	19	395,076	1,410	305	2.8
第2平茂勝	23	468,209	308	1,521	305	16	383,053	291	1,316	303	39	433,273	1,440	304	5.7
安茂勝	34	504,247	315	1,602	294	34	387,543	296	1,307	312	68	445,895	1,459	303	10.0
茂勝栄	13	456,750	302	1,510	300	11	373,609	291	1,286	306	24	418,644	1,410	303	3.5
総合計	388	486,483	309	1,574	300	293	392,532	287	1,367	308	681	446,060	1,489	304	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で45.7%、次いで「安茂勝」10.0%となった。
 ・第一花国の平均価格は458千円で、前回に比べ17千円高となった。単価は1,519円で前回より50円高となった。

次回開催日は4月13日（金）です。

十和田市公共牧場再生シンポジウム 開催



2月29日、十和田市内において「十和田市公共牧場再生協議会」主催のシンポジウムが開催された。同協議会は十和田市内の8カ所の公共牧場を管理する十和田市を始めとする各牧野組合から構成され、平成22年度から2カ年間、(社)中央畜産会からの助成を得て活動してきたものであり、これまでの活動実績を踏まえ公共牧場の今後の活用のあり方についてシンポジウムを開催したものである。

シンポジウムに先立ち畜産生物科学研究所理事長「萬田富治(元北里大學教授)」から「公共牧場を軸にした安全・安心な牛肉生産への道」と題する講演があり、中で8牧場が連携して役割分担し機能を強化し、飼料自給型の牛肉生産を進めるべきとした。同協議会については、平成24年度は十和田市の単独助成を得て協議会活

動を続け、3年後を目途に8牧場を一元管理し、放牧料金の統一化等に引き続き取り組んでいくこととしている。

なお、本協会はこの活動に対し、北里大學教授らで構成する地域推進委員会を組織し指導、助言などを実施してきたものである。

学生へ向けた環境教育講座

2月6日十和田市の北里大學において、十和田地域エコフィード推進協議会主催の環境教育講座が開かれた。会場には、北里大生、三本木農業高校生、協議会員、養豚農家など80名が参加し、東京農業大学 地域環境科学部の藤川智紀助教によるバイオマス概論の講演後、北里大で行われているバイオマス(エコフィード、堆肥利用)の研究成果発表や十和田地域エコフィード推進協議会の取組み紹介が行われた。本講座は将来を担う学生たちに、環境問題や農業、資源循環型社会について考える機会を持って欲しいと協議会が開催したもので、会場からは、エコフィードの利用に対する問題点や食料自給率向上への必要性、窒素循環などについて質問や意見があり、パネラーとの意見交換が行われた。

また、同協議会は3月19日十和田市において未活用食品残さの飼料化を検討する会議を開催し、平成22年度より2カ年間で実施した食品残さ貯存量調査の結果を報告した。未活用残さの多くは野菜くずや残飯で、年間1,600t余りが廃棄処分されていることがわかった。来年度は野菜くずを中心としたエコフィードを試作し、給与試験の実施を予定している。



下北肉用牛女性の会 勉強会開催



下北地域の肉用牛経営の女性を対象とした下北肉用牛女性の会が、肥育・育成技術に関する勉強会を開催した。2月29日は畜産研究所にて飼料米給与牛の現地視察をした後、十和田おいらせ農業協同組合にて肥育伝道師の折田勝男氏による講演「肥育農家が求める魅力的な肥育素牛とは」が行われた。また、3月15日はむつ市において勉強会が開催され、畜産研究所 鈴木晶夫講師より「肥育成績から見た種雄牛の能力・最近の県の種雄牛について」と題した講演があった。

むつ市、東通村、佐井村から参加した女性経営者たちは、肥育農家に求められる子牛づくりについて熱心に勉強していた。最近県の種雄牛となった優福栄は、もとは同地域で飼養されていた牛で、和牛の質の良さが話題に

上がった。来年度は畜産研究所 和牛改良技術部へ優福栄の見学を計画したいとしている。畜産協会でも活動へ一部助成しており、今後も活発な取組みを支援したい。

平成23年度 畜舎・堆肥舎の建築コスト低減事例調査

低コスト畜舎、堆肥舎の建築費に関する調査を実施しました。

事例1：酪農つなぎ畜舎（100頭）の場合



農家番号	青-2	建設地域	青森県 六ヶ所村	荷 重 条 件		
				積雪量 85cm	風速 30.6m/s	
経営類型	酪農	飼養規模	100頭	対象畜舎及び堆肥舎の種類・建築面積等		
				種 類	建築面積	建築確認の有無
				畜舎(つなぎ)	1,276.68㎡	有
対象畜舎及び堆肥舎の構造概要	架構形式	構造分類	屋根形状	屋根勾配	軒 高	主要な柱間隔
	鉄骨 山形ラーメン	鉄骨造	切妻	3/10	3.80m	3.60m
主要部材の種類・サイズ	鉄骨造 柱 : H-250×125×6×9 梁 : H-250×125×6×9 耐バー : T-100×100×6×8		屋根・壁の仕上材料	屋根: 畜舎用長尺GL波鉄板葺 α 0.27 硬質ウレタンフォーム断熱材入り α 20 アルミライナー箔(裏面) 壁 : 畜舎用長尺GL波鉄板葺 α 0.27 硬質ウレタンフォーム断熱材入り α 15		
土間の構造	RC t=120 D10 タテ、ヨコ@200		基礎の構造	RC 布基礎		
建築価格	工事価格	1㎡当たり工事価格		摘要		
	千円 86,820	千円 68	工事価格は、建物工事費に、当該工事に係る共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等を按分加算した額である。			
建築コスト低減のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築基準法施行令第80条の2第一号により外力の低減。 ・ 梁を耐バーで繋ぎ、梁のサイズを低減している。 ・ 外部開口部にカーテン使用。 					

その他の事例はホームページをご覧ください。

検索サイト → 「青森県畜産協会」 → 「建築コスト低減事例調査」を検索

URL http://aomori.lin.gr.jp/case/case_index.htm

第5回あおもり堆きゅう肥品評会 受賞者決まる

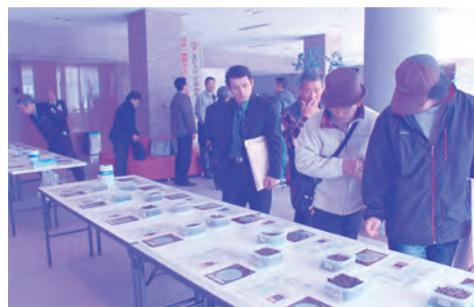


(受賞者：左から佐々木與助さん（代理）、(社) 東通村産業振興公社 宮下専務理事、六ヶ所村有機堆肥センター 石久保副センター長、インターファーム (株) 佐々木課長、(株) 川村畜産 (代理)、(有) 東北ファーム種市部長)

3月22日青森市において、「第5回あおもり堆きゅう肥品評会」(あおもり堆肥ネットワーク推進協議会主催)を開催した。今回は「日本一健康な土づくり推進大会」(県食の安全・安心推進課主催)と合同開催で、会場には耕種農家、畜産農家、関係者およそ130名が来場した。

堆きゅう肥品評会は県内の畜産堆肥の利用促進を目的に開催され、今年で5回目を迎える。授賞式では、良質な堆肥を生産する畜産農家6名が表彰され、続いて審査員長である十和田おいらせ農業協同組合野菜課長の斗澤康広氏が「年々出品堆肥の質が向上し優劣付けがたい。審査が難しくなっている。」と講評した。会場ロビーでは出品堆肥が展示され、来場者は興味深く堆肥に見入っていた。

引き続き開催された日本一健康な土づくり推進大会では、堆肥・育土研究所主宰の橋本力男氏による講演や、県内の土づくりに関する取組み事例発表が行われた。



受賞者

土づくり系堆肥部門 優秀賞

氏名/団体名	畜種	所在地	受賞歴
六ヶ所村有機堆肥センター	乳・肉牛	六ヶ所村	初受賞
社団法人東通村産業振興公社	肉牛	東通村	2回目
佐々木 與助	肉牛	五戸町	初受賞

土づくり系堆肥部門

審査部門
排水性を高めるなど土壌改良効果が期待できる堆肥を表彰

肥料系堆肥部門

肥料要素を多く含み肥料効果が期待できる堆肥を表彰

肥料系堆肥部門 優秀賞

氏名／団体名	畜種	所在地	受賞歴
有限会社 東北ファーム	採卵鶏	三沢市	初受賞
株式会社 川村畜産	豚	十和田市	2回目
インターファーム株式会社	豚	六戸町	初受賞

(順不同、敬称略)

- 審査項目
- 外観(どろどろしていないか)
 - 水分(撒きやすさ)
 - 臭気(悪臭がしないか)
 - 発芽試験
 - C/N比(養分バランス)
 - 堆積期間&切返し頻度
 - 腐熟度判定機による測定

受賞堆肥の生産データは、ホームページをご覧ください。
 検索サイトで「青森県畜産協会」→「堆肥流通コーナー」→「あおり堆きゅう肥品評会」
 →「第5回あおり堆きゅう肥品評会 受賞者一覧」を検索
 URL <http://aomori.lin.gr.jp/taihi/hinpyoukai/top.htm>



作る・使う・探す 耕畜連携して堆肥を使うための協議会ができました

あおり堆肥ネットワーク推進協議会 会員募集

<活動内容>

- 土づくり講習会
- 堆肥生産情報の提供
- 堆肥品評会
- 生産技術指導 など

一般会員(生産者向け)無料

事務局 (社)青森県畜産協会
 【お問合せ】TEL 017-723-2775



毎日忙しい皆さんのストレスや冷え性に



しょうがミルク

厳しい寒さもやっと終わり、ほっと一息ですね。

風邪を引きやすい季節の変わり目に、しょうがミルクをご紹介します。

昨今、人気のしょうが!!

血行を良くし体を芯から温めるので風邪の引き始めや冷え性、むくみ解消に有効です。

また老化やガンを予防する効果も期待できます。



牛 乳-1カップ(1人分)
 しょうが-1/3片
 はちみつ-おこのみで



鍋に入れて加熱してください

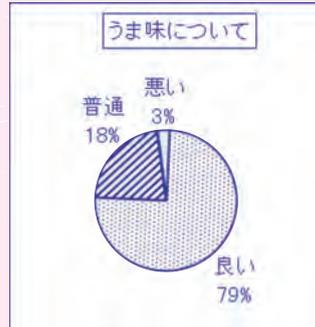
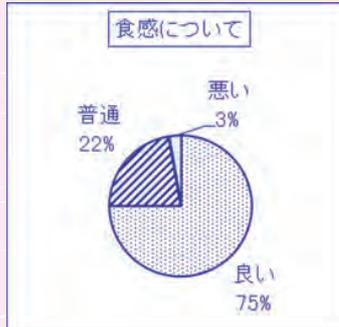
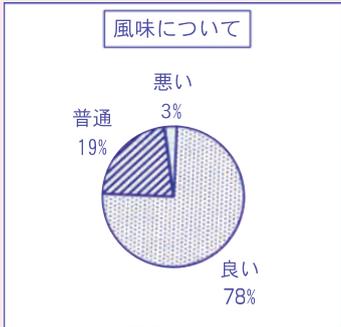
体だけでなく
 心もあったか♡



日本短角牛試食アンケートについて

(回答者(シェフ、生産者、行政、関係者:36名))

Q、短角牛の昆布包み焼き(サーロイン使用)を食べてどう思いましたか?



【試食会に参加した感想】

- ・創作料理としての調理方法が提案されたことは良かった。また開催してほしい。
- ・県内外向けのおみやげ、弁当などとして販売・流通してはどうか。
- ・短角牛が普及しない理由を色々な立場から聞くことができた。次に繋げていくことが大事だと思う。

県産品を使ったこだわりレシピ

春の行楽弁当に♪

青森県産短角牛 すね肉 炊込みご飯

〈 材料(4人分) 〉

- ・短角牛すね肉点……………400g
- ・笹がきごぼう……………100g
- ・にんじん……………1/2本
- ・糸こんにゃく……………1/2パック
- ・米……………3合

〈 調味料 〉

- ・醤油……………180cc
- ・みりん……………180cc
- ・酒……………180cc
- ・砂糖……………20g

〈 作り方 〉

1. すね肉を柔らかくなるまで2時間蒸す。
2. 笹がきごぼう・千切りしたにんじん・糸こんにゃくを水(800cc)・醤油・みりん・酒・砂糖で味付けする。
3. 米と1と2を混ぜ込み炊飯器で炊く。



ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜連ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代) 家畜衛生課 Tel(017)722-4331
 経営支援課 Tel(017)723-2775 価格安定課 Tel(017)718-3809

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail info@aomori.lin.gr.jp